

2018

10

October
No. 307

広報

みしま

Mishima Town Public Relations



自分と仲間を信じて

両沼西部三町村小学校体育交流会陸上記録会

(3ページに関連記事)



編み組実演コーナーの様子

三島の技を京都へ 奥会津三島ものづくり展 in 京都

三島町のものづくり展 in 京都は、京都市の（公財）手織技術振興財団 織成館にて8月31日から9月3日まで開催され、三島町の編み組細工や桐タンスを展示、販売しました。京都府を含め関西圏での展示販売のイベント開催は前年に引き続き2回目で、来場者の方々は特産品の数々を興味深そうに眺めたり、手に取っていました。

町では、今後も京都において展示販売会などを引き続き開催し、「奥会津三島のものづくり」を全国に幅広くPRしていく予定です。



展示会場の様子



会場となった織成館

自分を信じて記録に挑戦 両沼西部三町村小学校体育交流会陸上記録会

両沼西部三町村小学校体育交流会陸上記録会は9月12日に金山小校庭で行われ、三島小、金山小、横田小、昭和小の5年生と6年生が参加しました。100m走のほか、走り幅跳びやボール投げなどが行われ、日頃の練習の成果を発揮しました。

三島小は4×100m混合および男子リレーで優勝、個人種目でも多くの児童が素晴らしい結果を残しました。また、他校の児童と話をしたり応援しあうなど交流を深めていたようでした。



福島民報社より表彰された佐藤幸志さん、キヨさん夫妻

いつまでもお元気で

三島町敬老会

三島町敬老会は9月5日に森の校舎力タクリ体育館で開催され、満75歳以上の534名の招待者のうち、184名が出席しました。

福島民報社による「しあわせ金婚夫婦表彰」では、結婚50年を迎えた3組のご夫婦が表彰され、代表して佐藤幸志さん・キヨさん夫妻（西方）に表彰状と記念品が手渡されました。また、満99歳の白寿を迎えた3名、満88歳の米寿を迎えた33名の方々が町から表彰されました。また、来賓として菅家一郎衆議院議員がお祝いの言葉を述べられました。続いて行われた演芸会では三島保育所のきりん・ぱんだ組、西方スポーツ民踊クラブ、琴桐会、風の会や藤間会による演奏や舞踊があり、最後は三島太神楽保存会の長獅子が披露され、健康長寿を祝いました。



三島保育所の元気なダンス



琴桐会による大正琴の演奏



西方スポーツ民踊クラブの踊り



藤間会による舞踊



風の会による歌の披露

しあわせ金婚夫婦（結婚50年を迎えられた方）

地区	夫婦氏名
西方	二瓶 忠・教子
西方	佐藤幸志・キヨ
大石田	秦 正信・京子

（敬称略・順不同）

二百十日のおこもりと秋祭り

文・写真 佐久間絹江さん（滝原）

8月31日午後7時より、駒形神社にて、青木宮司さんをお迎えして、滝原地区住民の健康と安全（無病息災）、五穀豊穡をご祈禱していただきました。

9月15日午前7時より、駒形神社祭礼に向け、神社および多目的広場の除草、掃除を行い、その後祭礼を行いました。

翌16日は「滝原秋祭りと親睦会」と題し、きれいになった多目的広場でグラウンドゴルフが開催されました。さわやかな秋風が吹くなか、4チームに分かれて腕前を競い合いました。滝原地区ではGGC（グラウンドゴルフクラブ）が週2回活動しています。その成果が大いに発揮され、ホールインワンが何人も出る熱い戦いが繰り広げられました。ゲームの後は恒例の焼肉、焼き鳥や豚汁、生ビールで喉を潤し親睦を深めました。



春日神社 秋の例大祭と「お籠り」

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）



9月14日、桧原地区春日神社秋の例大祭は、同神社で開かれました。参列者は五穀豊穡や家内安全を祈願し、例大祭では神事が行われ、青木宮司のお祓い祝詞奏上後、神社総代長と氏子を代表して区長が玉串を捧げ、地区の繁栄と安全を祈願しました。例大祭終了後は、その場で直会を実施し親睦を深めました。

当日夜7時より、伝統行事の「お籠り」を行いました。各自お酒や酒肴を持ち寄り、町と地区の話題と今年の農作物の出来具合、健康管理等について大変盛り上がり、秋の夜長を遅くまで酒を酌み交わし、伝統行事を受け継ぎながら大いに親睦を深めた夜になりました。



視点場と遊歩道を整備

文・写真 小島純さん（宮下）

宮下地区では、地区委員とまちづくり応援隊の協力を得て、撮影ポイントである三橋台の視点場と三島神社の上を走る国道252号線沿いの遊歩道の整備を行いました。

視点場は三橋が一度に撮影できるポイントとして多くの人が訪れます。また、遊歩道は散策には適当な傾斜と距離があり、歩道の途中にはオオヤマザクラの大木が見られます。春にはきれいに咲き誇る桜を愛でながらウォーキングを楽しむことができます。

どちらのポイントも訪れた人が気持ちよく撮影したり散策できるように定期的に整備を行っています。



県

総体準優勝の好成績をおさめる

福島県総合体育大会ゲートボール競技

福島県総合体育大会のゲートボール競技は8月26日に郡山市の西部スポーツ広場で開催されました。県内7地区から男女各16チームが出場したこの大会で、三島町チームも男女の部それぞれに参加し、女子の部で準優勝を飾りました。男女問わず楽しみながらもチーム全体で技術を磨き、練習を続けた成果が現れた結果となりました。



節

目の個展を山びこで開催

佐瀬幸廣展 第20回個展

「佐瀬幸廣展 第20回個展」は交流センター山びこで9月24日まで開催され、9月2日には佐瀬さんと小堀貞さんによるトークショーが行われ、佐瀬さんの作品に対する思いや制作に傾ける情熱などが小堀さんとの会話を通じて語られました。町内外から訪れた約30名の来場者は話に熱心に耳を傾け、制作方法や今回の展示の意図について質問などしていました。



こ

れからも様々な企画展を開催します

交流センター山びこ 企画展来場1,000人達成

先月行われた「光の種 半澤政人 紙の立体造形展 Ori Kiri Ori」で来場者が1,000人を超え、1,000人目の来場者となった二瓶佳悟さんには半澤さん手作りの記念品が手渡されました。

交流センター山びこでは、自由に作品を配置できる展示スペースを活用し、これからも企画展を通じて多くの方が芸術に触れる機会を設けていきますので、ぜひご来場ください。



お

いしさいっぱい揃えてます

よってがん処夕市

三島町商工会の主催による「よってがん処夕市」は9月12日に宮下地区のsampsom（サンブソン）で開催され、町内外のお店が新鮮野菜や手作りの惣菜、パンなどを販売しました。開始時刻の午後3時になると同時に多くの方が訪れ、お店の人と会話をしながら買い物をしていました。商工会では今後、毎月第2、4週に夕市の開催を予定していますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。



交

通事故に気をつけましょう

秋の全国交通安全運動ふれあいキャンペーン

秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）に合わせて9月25日に、川井地区の国道252号沿いで秋の全国交通安全運動ふれあいキャンペーンが行われました。町交通対策協議会、交通安全協会三島分会、町交通安全母の会、会津坂下警察署などが参加して、通行するドライバーに飲み物やストラップなどを配り、安全運転を呼びかけました。これからも安全運転に注意し、事故防止に努めましょう。



川井地区の秋道草刈り作業

文・写真 角田伊一さん（川井）

9月2日川井地区で恒例の秋道草刈り作業が行われました。近年は家畜の飼育も無くなり、路傍の草を刈り取って牛馬に与えることも無くなったので、地区内の農道も林道も生い茂る雑草や蔓草に覆われ、歩行もままならず、車の走行にも危険を覚える状態に陥っています。そこで雑草の生い茂る秋口に、地区民総出で草刈機や刈払鎌を用いて除草作業を行うのが恒例化しております。今年も大勢参加し大汗を流しながら作業に励みました。休憩時間には区長様差し入れの巨大スイカに喉を潤し、午前中で全線の作業を終えることが出来ました。



川井伊豆神社の清掃と例大祭

文・写真 角田伊一さん（川井）



9月9日、川井長寿会では全国老人クラブ社会奉仕事業の一環として、地区鎮守伊豆神社の清掃活動を実施しました。足腰の元気な老人25名が参加して拝殿内を清掃し、境内の除草に汗を流しました。終了後にはおいしい飲み物が配られ、来月予定の研修旅行の行き先などをみんなで話し合いました。

5日後の14日には、清掃された拝殿で恒例の伊豆神社例大祭が催され、長寿会会員など多数参拝に訪れ、家内および村内安全を祈願しました。

東北芸術工科大学の学生による景観・環境整備活動

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）



東北芸術工科大学の学生による早戸地区の景観・環境整備活動が、今年も8月28日から9月1日までの日程で行われました。この活動は、今年で9年目となり、佐久間建設工業の支援を受けて行っています。今年度は早戸地区として「三島町地区支援事業補助金」により、町の支援も受けられることとなりました。次年度以降も継続して申請し、東北芸術工科大学との景観・環境整備活動が継続していけるような仕組みを作りたいと考えています。この補助金を活用し、湯の平地区の遊歩道の景観・環境整備活動だけでなく、今年から新たに居平地区の景観・環境整備活動にも取り組むことにしました。

居平地区には石垣が多く残され集落の景観を構成していますが、保守が十分でなく補修が必要なものが複数あります。今年は試験的な取り組みとして、五十嵐順子氏宅の石垣の一部を修復する作業を行いました。また、今後の居平地区の景観・環境整備事業を考えるために、居平地区（早戸本村）が昔どのようなところだったのか、また住民はどのような生活を行っていたのかを住民が学生および教員・専門家に説明し、意見交換する場を持ちました。今まではあまりこのような機会はありませんでした、新しい試みとして実施したものです。



みんなで稲刈りに汗を流す

文・写真 小島純さん（宮下）



宮下地区のビオたんクラブでは、秋晴れの9月28日、宮下神社前にある「田んぼの学校」で三島小学校との交流事業の“稲刈り”を見学32名と行いました。びおたんクラブ役員と学校関係者も参加して黄金色に生長した稲を一生懸命刈り取る児童たちの作業を見守りました。刈り取った稲は活性化センター裏のフェンスに天日干しされ、乾燥した稲を4～6年生が来月に脱穀し、11月の「秋の味覚祭」で収穫を祝います。

「秋の人足」で農道などスッキリ

文・写真 本名与四郎さん（西方）

9月2日の午前8時から11時30分頃を目安に西方地区において「秋の人足」が行われました。今夏は、全国的に猛暑による熱中症や台風がもたらした豪雨による自然災害で多くの尊い人命が失われました。人足の当日も早朝まで雨が降り心配されましたが、天気が回復し、14隣組がそれぞれの分担された箇所に分かれて作業を開始しました。

普段通ることが少なくなった農道や林道の雑草は、暑さと長雨の影響もあり、大人の膝元以上に伸びきっていました。どの隣組でも、草刈り機のエンジン音が各箇所でも鳴り響いていました。作業の途中に、休憩をとりながら、はつ草などのキノコの出具合や二瓶辰雄さんが南相馬沖で1メートルを超えるヒラメを悪戦苦闘しながら釣り上げた話などの情報交換を行う場面が見られました。秋の人足によって、地域の環境美化だけでなく、心の交流を深めることができたようです。



天に守られた子ども神輿と豊年踊り

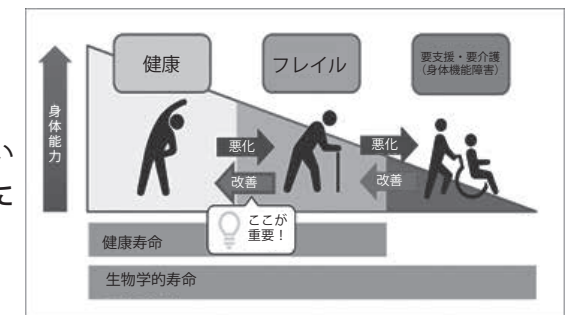
文・写真 本名与四郎さん（西方）

9月8日の例年行われている西方地区の「子ども神輿」は早朝から雨が降り始めており開催について何度も協議した結果、時間を繰り上げ午後1時より開始することとなりました。

多少の雨が降ったものの、子ども神輿は旧西方児童館近くの郷倉から加登屋さんまでの直線の道のりを「ワッショイ、ワッショイ」と大きなかけ声に合わせて練り歩きました。神輿の途中、小学校児童と若妻会の皆さんによる「よさこい踊り」が急きょ、披露され沿道に集まった観客から拍手喝采を受けました。午後7時30分より「豊年踊り」も開催されました。今年も趣向を凝らした団体の仮装や個人による仮装が多く出場し、会場を大いに盛り上げました。子ども神輿と豊年踊りで地区民に元気と笑顔と喜びを与えた初秋の一日となりました。



あなたは「フレイル」大丈夫？



～フレイルってどういう状態？～

フレイルとは、健常から要介護へ移行する中間の段階といわれています。フレイルの時期を経て、徐々に要介護状態に陥と考えられています。

フレイルは対策次第では健康状態に戻ることができます。

まずは「からだ」チェック！



以下の項目に当てはまるものはありますか？

- ☐ 体重減少（意図せず1年間に5%以上）
- ☐ 疲労感の自覚（週に3～4日、以前より疲れやすくなった）
- ☐ 日常生活の活動量の減少
- ☐ 身体能力の減弱（横断歩道を青のうちに渡れない）
- ☐ 握力の低下（ペットボトルのふたが開けられない）

いくつ当てはまりましたか？3項目以上当てはまるとフレイルの可能性があります



～フレイル予防のために大切な3つのポイント～

①栄養 ～栄養摂取はバランスよく～

乳製品、卵、肉、魚、大豆製品、緑黄色野菜、芋、果物、海藻、油の10品目をできるだけ毎日摂ることが勧められています。※腎臓病など食事制限が必要な方は病院の先生と相談してください。

②運動 ～筋肉が衰え始める前に「貯筋生活」を習慣づけましょう～

ペットボトルのふたを開けるには約10kgの握力が必要で、開けられない場合は筋肉が落ち始めて

いるということです。筋肉トレーニングのほか、買い物や散歩で20～30分ほど歩くことが大切だと言われています。

③社会参加 ～社会参加の機会が減ることがフレイルの最初の入り口に～

趣味やボランティア、家族や友達と外食したり、近所のイベントに参加するなど自分に合った方法で社会参加をしましょう。

図書のご案内

●今月のおすすめ



「百貨の魔法」
著者：村山 早紀

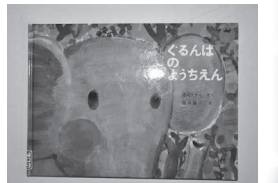
舞台となるのは「閉店が近いのでは？」とうわさされる星野百貨店。店員たちはそれぞれの立場で、街の人々に愛されてきたデパートを守ろうとする……。2018年本屋大賞ノミネート作品。

○利用時間

月～金 午前9時～午後9時 土・日・祝 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。

「ぐるんぱのようちえん」(絵本)
西内ミナミ 作 堀内誠一 絵

象のぐるんぱはある日働きに行くことになります。バスケット屋さん、お皿屋さん、靴屋さん、ピアノ工場……がんばりやのぐるんぱを応援したくなる絵本です。



題 名	著 者
魂の退社	稲垣 えみ子
友だち幻想	菅 野 仁
石つぶて	清 武 英 利
悪だくみ	森 功
女性に伝えたい未来が変わる働き方	野 村 浩 子
鳥に単は似合わない	阿 部 智 里

●新着本●

問 公民館 ☎ (48) 5599

町史編さん室だより

第33回

もし、ご家庭に古い文書などございましたら、交流センター山びこまでご一報ください。
☎ (52) 2165

江戸時代の算法と検地

江戸時代に生きる人々の誰もが土地の面積を求めたり、細かな計算が必要な物の売買を行ったりできたかは難しいと考えられています。しかし、名主等の村役人は年貢取立て等の必要から相応の算法（算術）の習得を求められていました。

『三島町史』には「算法」として、寛政五（一七九三）年、川井村名主であった文蔵の手控帳として遺されていたものを掲載しています。

手控帳では算法を記す前に、まず検地にあつての心構えを書いています。

「検地之事」という表題の冒頭には

ケンチハ大事之者也、カリそめの事に思ふべからず。（中略）郷村のよく成も又あしくなるも、百姓の身ノ上よくなるもアシクナルモ、皆ケン地の仕様次第なり。（後略）

とし、事例を示しながら縄打（田畑の面積・収量調査、検地のこと）がいかに大事なことなのか、もし間違えてしまえば百姓の身上がつぶれ嘆き悲しむこととなる恐ろしき事なの

だと書いています。

さて、当時の田は現在のような圃場整備を行以前ですので、今のように長方形ばかりでなく、複雑な形をしていました。それを反映してか、長方形だけでなく、三角形、円形、楕円形、菱形、その他の多角形など、さまざまな形の面積を求めるための計算方法が書かれています。

法二、十五間ヲ左右二置かけ、二百二十五坪となる。是二円法七九をかくれハ、百七十七坪五厘となる。是ヲ三二テ割ハ五畝七歩七分五厘となる也。

引用したのは円形の面積の求め方です。円形の面積は今なら円の半径×半径×円周率で求めますが、当時は「円法」なるものがあり、円の直径×直径に0.79を掛け計算していました。これは今の円周率を約3.14とするなら約3.16として求めた答えと同じであり、今と比べてもあまり誤差のない面積が算出できていたといえるでしょう。

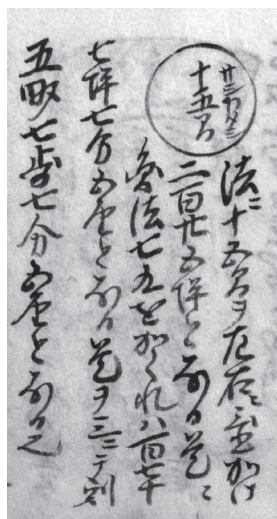
手控帳にあるのは、このような検地の際の

面積の算出法だけではありません。買ひ物の際の問答集、年貢の勘定の方法なども書かれており、『三島町史』にはこちらも併せて掲載しています。

特に年貢の勘定方法については通常のものから難度の高いものまで問題と解説が事細かに書かれています。先に述べた検地と併せて考えれば、江戸時代においても百姓は田畑を耕すだけでなく、少なくとも名主等の地位にあつた者は、このような算法の知識を実際に用いるだけの能力と責任を持っていたことがわかります。

※引用文の句読点は読みやすいように付け加えたものです。

文 三島町史編さん室



円形の面積を求める例題



環境研だより 第4回「森林資源のエネルギー利用について」

国立環境研究所福島支部 地域環境創生研究室

三島町のみなさま、こんにちは。

前回までは、国立環境研究所が三島町や奥会津地域で進めている森林に関する研究の概要や、それに関連する国の制度の現状、各地での特徴的な取り組み等についてご紹介してきました。今回は、森林資源をはじめとする地域の資源を再生可能エネルギーとして利用するという選択肢について、その背景や課題をご紹介いたします。

再生可能エネルギーとは、太陽光、水力、風力、地熱、バイオマスなど一度利用しても比較的短期間に再生が可能なエネルギーの総称です。石油や石炭、天然ガスなどの化石エネルギーと置き換えることで、温暖化の原因となる温室効果ガス（二酸化炭素など）の大気中の濃度増加を抑制し、また、国内で生産できることから、エネルギー自給率向上にも寄与できる重要なエネルギー源です。特に、震災以降エネルギー需給の見直しが進む中でより注目が集まっており、2012年7月には再生可能エネルギー固定価格買取（FIT）制度が開始されました。この制度は、再生可能エネルギー源を用いて発電された電気を、定められた期間・価格で電気事業者が買い取ることを義務付けるものです。一定の条件がそろえば、発電設備への投資費用が回収できるように買い取り価格が設定されたため、再生可能エネルギーの導入量は、図1に示すように約2.8倍に拡大しました。しかし、その大半は太陽光発電で、多くはメガソーラーと呼ばれる大規模発電施設となっており、いくつかの問題点が指摘されています。例えば、事業者が地域外の大手企業であるため、事業により得られた利益が地域に還元されず地域外に流出しているという指摘です。さらに、メガソーラーの増加に伴い、景観、防災、生活環境、自然保護への懸念等に関して住民や行政と事業者の間でトラブル等も発生しています。

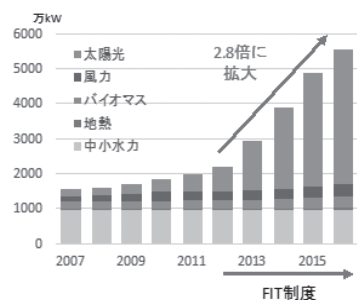


図1：再生可能エネルギーに関する設備容量の推移（資源エネルギー庁資料をもとに作成）

このような問題を解決するためには、環境への影響を事前にチェックする「環境アセスメント」等の制度整備とともに、エネルギー計画への地域の関わりを高めることが重要であると考えられます。地域が主導して、地域において制御可能な小規模で分散型の技術（熱利用を含む）を段階的に導入していくという取り組みも全国で少しずつ始まっており、グッドプラクティスと呼ばれる先進的な事例も散見されます。これらの事例で挙げられている分散型の地域エネルギーシステムを導入することの利点としては、燃料費用や温室効果ガス排出量の削減などの直接的な効果に加えて、災害時にエネルギー源が喪失するリスクの軽減や林業・林産業の活性化を含む地域雇用の増加などがあります。

弊所でも、森林を始めとする地域資源の賦存状況やエネルギー需要など、その地域固有の条件に基づいて、適正なエネルギーシステムのデザインを支援する研究を実施しており、三島町内のいくつかの地区を対象に森林資源を活用して電力や熱を供給するシステムの可能性について研究しています（図2）。このような取り組みを通じて三島町の地域循環の中に森林資源を位置づけ、有効に活用していく方法に関して、良い知恵を出していくお手伝いができればと考えております。

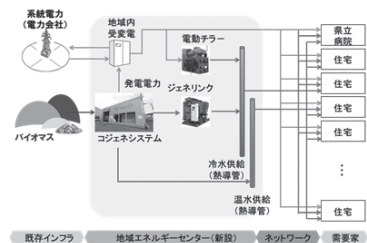


図2：地域エネルギーシステムの検討概要

<筆者紹介>

とがわ たくや 戸川 卓哉（兵庫県出身）

土地利用計画や地域エネルギーについて研究しています。2016年に福島に来てから始めたジム通いで体力がついてきたので、三坂山のハイキングコースに挑戦してみたいと思っています。



●内容に関するお問合せ先
国立環境研究所福島支部 地域環境創生研究室
☎ 0247 (61) 6572

愛ばんしょ外来のお知らせ



「みしま健康ポイント」の対象です！

宮下病院では、毎週木曜日「愛ばんしょ外来」（在宅療養生活支援外来）を開設しています。

病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口

地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供

地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援

などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。



相談窓口では、皆さまの疑問や不安、要望などの相談を受け付けています。予約は不要です。待合室にお越しください。

費用は無料です。どなたでもご利用できますので、お気軽にお越しください！（相談コーナーと健康教室は予約不要です） ☎宮下病院 ☎ (52) 2321

○季節の変わり目は、気温の変化から体調を崩しやすい季節です。体調が悪いと感じたら、早めに受診しましょう。

月 日	内 容
10月 11日(木)	・相談コーナー ・健康教室「筋力アップ」(講師:看護師)
10月 18日(木)	・相談コーナー ・健康教室「筋力アップ」(講師:看護師)
10月 25日(木)	・相談コーナー ・健康教室「食欲の秋、間食を上手にとりましょう」(講師:管理栄養士)
11月 1日(木)	・相談コーナー ・健康教室 「インフルエンザの予防接種について」(講師:看護師)

・相談コーナー 午前9～12時、午後1時～4時

・健康教室 午前10時30分～11時

・場 所 宮下病院 外来待合室等

(健康教室の内容は変更になる場合があります)



診療日記 ～たかが便秘、されど便秘～



○便秘とは？

便の回数には個人差がありますが、1週間の便の回数が3回未満の人は便秘といえます。

○便秘の原因と対策は？

食物繊維の摂取量が不足すると便が少なくなるため、食事内容に注意し、水分摂取量も増やすこと、また体を動かすことが少ないと腸の蠕動（ぜんどう）運動が不活発となるため、運動、特に散歩などの足を使うことが重要です。

○病院はどんな薬が処方されるの？

- ・緩下剤…酸化マグネシウム系の薬（カマ、マグラックスなど）は便を柔らかくする薬です。便の硬さに応じて自己調整可能です。
- ・刺激性下剤…腸の蠕動を刺激する薬です（プルゼニド、ラキソベロン等）。慣れないとお腹がし

ぶる痛みを感じることや、逆に連用すると効き目が鈍くなります。

- ・その他…30年以上の間、上記2種類しかありませんでしたが、近年、上皮機能変容薬や胆汁酸トランスポーター阻害剤といった新薬ができました。

○便秘の注意点～たかが便秘、されど便秘～

市販薬で対応している人も多いかと思いますが、上記のとおり治療の選択肢が広がっています。また、便に血が付いたり混ざったり、便が細くなったり、腹痛やお腹の張りを繰り返す場合、今まで順調であった便通が最近便秘気味になった場合には、大腸がんなどの病気が隠れていることもありますので、病院を受診してください。

宮下病院 内科医長 五十嵐亮

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が発行されます。 ～年末調整・確定申告まで大切に保管を！～

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象となります。

社会保険料控除を受けるためには、納付したことを証明する書類の添付が義務付けられています。

このため、平成30年1月1日から10月1日までの間に国民年金保険料を納付された方へ、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」を本年11月上旬に日本年金機構本部から送付する予定としていますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書（または領収証書）を添付してください。

ただし、9月下旬から10月上旬にかけてコンビニエンスストアで保険料を納付された一部の方は、11月中旬に「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」を送付する予定としていますので、ご承知願います。

また、平成30年10月2日から12月31日までの間に今年をはじめ国民年金保険料を納付された方については、翌年の2月上旬に送付する予定としています。

なお、ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、ご本人の社会保険料控除に加えることができますので、ご家族あてに送られた控除証明書を添付のうえ申告してください。

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」についてのご照会は、控除証明書のハガキに表示されている電話番号にお問い合わせください。

☎ねんきん加入者ダイヤル（ナビダイヤル）

☎ 0570（003）004

（050 から始まる電話の場合）

☎ 03（6630）2525



消防署からののお知らせ 住宅用火災警報器の維持・管理について

もし、火災報知器が鳴ったら… **すぐに火災かどうか確かめる！**

【火災の場合】

- ・大声で火事であることを知らせます。
- ・早く発見できたら、消火器などで初期消火を行います。
- ・もしも消火中、天井に火が届くようになったら消火をあきらめ、すぐに避難します。
- ・避難するときは、タオルなどで口と鼻を覆い、姿勢を低くして避難します。
- ・避難できたら、すぐに119番通報してください。

【火災でない場合】

- ・電池切れや故障である警報音の場合は、点検を行い、電池を交換するなどしましょう。
- ・火災でない煙に反応したら、換気をして煙などを外に排出し、警報音を止めましょう。（ボタンを押すか、ひもを引くと一般的に音は止まります。）

【定期的に点検しましょう！】

① 1ヵ月に1度を目安にきちんと動作するか確認しましょう。② 台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れがつくことがあります。ほこりなどが付着すると火災を感知しにくくなるので、家庭用中性洗剤に浸した布などを十分に絞って、軽くふき取ってください。③ 電池切れの際は電池の交換を。④ 本体の交換期限は機種によって異なりますが、目安はおおむね10年です。⑤ 火災警報器によって点検方法が異なるため、詳しくは説明書や仕様書をご確認ください。

※住宅用火災報知器を設置されたお宅につきましては、特に電池切れの警報や誤作動により設置していた住宅警報器を取り外してしまう事のないよう、適切な維持・管理をお願いいたします。

火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
電 話 52 - 3032
FAX 52 - 3033



会津坂下警察署からののお知らせ STOP! なりすまし詐欺

有料サイト利用料金名目の架空請求詐欺被害が多発しているでござる！サイト利用料金を請求するメールには十分注意するでござる！

有料サイト利用の請求メールは詐欺！

【メール内容】

有料動画サイト利用料の未納が発生しています。本日中に連絡がない場合、法的手続きに移行します。〇〇サービス株式会社 03- ▲▲▲▲ - ▲▲▲▲



「電子ギフト券で支払って」は詐欺を疑って！



1年間に登録した動画サイトの使用料が未納です。今月中に支払わないと裁判になります。コンビニで〇万円の電子ギフト券を買って支払って下さい。

ポイント

- 不審な請求メールは無視すること。
- ハガキや封書による架空請求にも注意！
- 電子ギフト券による支払いを求められた場合は、詐欺を疑うこと。
※電子ギフト券…アマゾンギフト券、ウェブマネー、ビットキャッシュなどで、コンビニやスーパー等で購入可能
- 「裁判になる。」などと脅されても、慌てずに、家族や警察に相談すること。

町からのお知らせ

10月分納税のご案内

【納期限 10月31日】

▼町県民税（普通徴収）（第3期）
▼後期高齢者保険料（普通徴収）

☎ 町民課 町民係 ☎（48）55555（第3期）

社会福祉協議会より

サロンのご案内

▼**桧原はつらつクラブ**
10月8日（月）10時～ 桧原集会所

▼**浅岐あつたかサロン 社会見学**
10月10日（水）下郷町方面

▼**高清水・小しいいきサロン**
10月16日（火）10時～ 高清水集会所

▼**大登サロン**
10月17日（水）13時30分～

大登生活改善センター

▼**ひまわりサロン 社会見学**
10月19日（金）いわき市方面

▼**滝谷和楽塾・川井友愛サロン**
合同社会見学

10月25日（木）いわき市方面

▼**桧原はつらつクラブ**
11月1日（土）10時～ 桧原集会所

☎ 社会福祉協議会 ☎（52）3344

町の人口と世帯

9月1日現在

人口	1,654	-3	出生	0
男	816	0	死亡	2
女	838	-3	転入	3
世帯	777	-1	転出	4

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1ヵ月間に届出のあった人数です。

街頭犯罪発生件数

区 分	管 内	三島町
空 き 巣	1	
忍 込 み	1	
事 務 所 荒 し	2	
自 動 車 盗	1	
自 転 車 盗	4	
自販機ねらい	7	
車 上 ね ら い	8	
部 品 ね ら い	2	
街頭犯罪合計	27	0
全 刑 法 犯	74	1

（平成30年8月31日）

ご寄附ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）

小堀庄太郎様（西方）
五十嵐勝男様（宮下）
諏江武雄様（桧原）
五十嵐馨様（大谷）

待望の大会初勝利

第12回市町村対抗軟式野球大会 一回戦

三島町 9 - 1 双葉町 (6回コールド)

第12回市町村対抗軟式野球大会の三島町と双葉町の試合は9月16日に須賀川市の牡丹台球場で行われ、三島町が9対1のスコアで念願の大会初勝利を収めました。試合は3回に主将の二瓶健嗣選手(名人)が好機を逃さず先制打を放つなど一挙5点を挙げ、先発の志田雅史投手(宮下)は相手打線を寄せつけず6回1失点と好投しました。また、今年も応援に町民が多数かけつけ選手を鼓舞し、試合を盛り上げました。9月23日に行われた2回戦では、二本松市に惜しくも破れましたが、今後のさらなる飛躍が期待されます。



2018年7月4日発行の全国紙Y新聞の一面に次のような見出しがありました。

「街づくり複数自治体で」法整備方針 人口減へ連携を促す
「都市機能維持へ」「苦肉の策」

読んでみますと、戦後から進めてきた「国土の均衡発展」からの大きな転換であると感じました。

新聞によると「少子高齢化を見据えて、自主的な合併を支援してきた現行の合併特例法が20年3月に期限切れとなり、自治体の基盤強化策を合併から圏域での連携に切り替える」また「まちづくりや産業振興は、自治体ごとに行っており、同じような施設が整備されるなど無駄が多い。将来人口減で税収や利用者が減るため、自治体単位では施設の維持や新たな整備が困難になると予想され、このような状況を回避するために、20万以上の中核市などを中心に近隣市町村が連携する「連携中核都市圏(圏域)」を主体にまちづくりを展開していく考えである。法整備で、圏域を地方交付税の交付対象とし、規制緩和などを活用して後押しする反面、特に小規模自治体への交付税配分などを調整し、独自のまちづくりは事実上、抑制する方向だ。」

これらは有識者研究会の総務省へ提言なのですが、人口減少に対して避け

町長日記 (地域からの発想が)

No. 39

て通れないことを率直に提言したものだと考えています。これらは再生・成熟・環境・福祉そして、ふるさと回帰あるいは幸福の質・生活の質等が問わなければならない時代の流れに逆らっていると考えています。

この発想は人間の効率化の視点、社会の合理化という視点、成長という視点に比重を今以上にシフトする日本の社会構造体制にしようとする背景が見え隠れします。

「夢をもう一度」を国の中心として据えて政策を展開する時代ではないと考えています。特に農村は、高度経済成長政策に貢献した反面、地域の歴史や文化を失ってきました。その喪失した部分を補修しようと必死に地方創生に取り組み、地域住民の皆さまが活力を取り戻そうとされている矢先、圏域法制化の情報が流れるのが残念でなりません。地方の努力に水差す、また現場の声を聞かない政策には非常に疑問を感じています。

過疎集落で一定の収入を得ながら、安心して住み続けることができる仕組み作りにお力添えを願うものです。それが国土の調和ある日本の姿であり、日本文化の素晴らしさを世界に提示できる道であると考えます。

三島町長 矢澤 源成

発行 三島町 編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241 (48) 5511

ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp

印刷 三洋印刷株式会社